



2012年 6月26日

みなさん、こんにちは。先週の台風がもたらした大雨は、すごかったですね。気候の不順が続きますが、関西にも本格的にやってくる「節電の夏」。みなさんは、なにか準備を始めていますか？

● 7月1日まで『館収蔵品展Ⅱ』開催しています！

海をテーマにした『館収蔵品展Ⅱ』は、残すところ1週間できりました。みなさんは、もうご覧になりましたか？

6月8日(金)のイベント「住吉丸に乗ってみよう！」では、明石幼稚園の年長さんが来館し、住吉丸に乗船しました。おそろいの帽子をかぶったかわいらしい園児たち。全員、いっぺんに乗れそう・・・！とはいえ、安全のためにも6人ずつ順番に乗船しました。「昔は木でできた船やったんや」、「ここにとった魚を入れとくんやで」。まっすぐな子どもたちのまなざしに答えるように、やさしくお話をするボランティアさんの表情も生き生きとしていました。

また、22日(金)の午前には、明石小学校6年生が来館。昨年、明石小で見つかり、当館に寄贈された古家 新(ふるや しん)の作品《海峡》について担当学芸員から説明を聞き、その後、思い思いに鑑賞しました。

今回は博物館から「修復後、初公開する《海峡》を展示するので見に来ませんか」と呼びかけ、それに応えて来館してくれました。古家新は、明石小出身。子どもたちは大先輩の作品を見て、どんなことを感じたのでしょうか。

お時間のある方は、ぜひ会場に足をお運びくださいね！



↑住吉丸に乗船中！

トライやるの生徒も案内係をしました。



《海峡》の前で説明をきく児童たち

● 『館収蔵品展Ⅱ』の図録

開催中の『館収蔵品展Ⅱ -海がつなぐひととひと-』では、版画家・村上暁人さんの作品《星ふる明石海峡》を表紙にした図録を販売しています(右画像)。星がまたたく夜空の下、闇に浮かぶ淡路島が印象的です。

図版や解説のほか、展覧会の目玉である古家 新の作品《海峡》の発見から修復、文化博物館に移管されるまでの経緯なども書かれています。

ご興味ある方は、手にとってみてください。



『館収蔵品展Ⅱ』図録(1冊 1,200円)

さて、お知らせです。次号から「博物館だより」の担当者が変わります。長いおつきあいの方も、そうでない方も読んで下さりありがとうございました。今後もどうぞお楽しみに！